



私の なんとか しなきゃ!

Vol. 2

今を生きる 私たちの責任

シンガーソングライター

川嶋 あい

KAWASHIMA Ai

PROFILE

1986年福岡県出身。15歳で東京、路上ライブを中心に歌手活動を開始。「卒業式に来てほしい女性アーティストNo.1」に選ばれるなど、10代を中心に幅広い支持を集める。国際協力NGO「アイラブワゴン」を立ち上げ、開発途上国の学校建設支援にも取り組む。ニューシングル「そらいろ～Simple Treasure～」の売上の一部は、学校建設の資金に充てられる。「なんとかしなきゃ! プロジェクト」著名人メンバー。



中学生の時に、アフリカのドキュメンタリー番組を見て衝撃を受けました。どこの国だったかは覚えていないのですが、お腹がぼこっと出た、小さな細い手の子どもたちが映っていて。毎日が平和で、幸せな生活が当たり前だと思っていた私は、同じ地球上にそんな現実が存在するなんて想像もしていませんでした。

それからずっと、私にできることを考えていたんですが、何から始めていいか分からなかった。それで、新聞広告に出ていたNGOに電話をして、まずは話を聞かせてほしいとお願いしたんです。まだデビューする前でただの高校生でしたが、私のために時間を取って、開発途上国が抱える問題やNGOの活動について詳しく教えてくださいました。

そこで初めて、途上国のことを遠い海の向こうの話ではなく、「現実のもの」としてとらえられたような気がしま

す。そしてNGOの方と話をするうちに、どんな問題を解決するにも、一番大切なのは未来を担う子どもたちの「教育」なんじゃないかと。そこから、学校建設の支援につながっていきました。

スタッフやファンの方の協力の下、数年後には、ブルキナファソに1校目が完成しました。残念ながら開校式には行けなかったのですが、現地から送られてきた子どもたちの笑顔の写真を見ているだけで、胸がいっぱいになったのを覚えています。

そして2008年には、カンボジアに建設した学校を訪問することができました。「これからいっぱい勉強するから!」「将来は先生になって両親を助けてあげるんだ」と、どの子も本当にたくましくて私自身が学ぶことの方が多かった。身が引き締まる思いでした。

一年に1校を目標に、コンサート会場での募金、ポストカードの販売などを通じて資金を集め、今年の春には

6校目を建設しました。「あい校舎」で学ぶ子どもたちは、私にとっては弟や妹みたいな存在です。幼いころ、私を施設から引き取ってくれた両親から受けたたくさんの愛情を、今度は私が子どもたちに注いでいきたい。そう思っています。

一人一人の小さな心掛けが周りに連鎖していけば、いつの日か、必ず大きな変化が起きるはず。途上国の人を支えていくのは、先進国に生きる私たちの責任。国境とか、文化とか、肌の色の違いとか関係ない。そんなものはすべて取り払って、優しさや思いやりをみんなでシェアできるような世界になればと願っています。

「なんとかしなきゃ! プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトを中心に、さまざまな国際協力のカチを提案していきます。
詳しくはこちらから→ [なんとかしなきゃ.jp](http://nankashinaky.jp)